

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第93期 事業報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

# ごあいさつ

皆様には平素から格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2001年に日本精糖株式会社とフジ製糖株式会社が合併してフジ日本精糖株式会社が誕生して以来、皆様方の力強いご支援とご愛顧を頂きながら、事業の拡大・成長を目指した事業基盤の強化に努めてまいりました。おかげさまで、少しずつではありますが、その成果が現れてきております。

当社グループでは、成長実現の方策の一環として、新たな3か年中期経営計画を策定し、2016年4月よりスタートいたしました。(当社ホームページ<http://www.fnsugar.co.jp/>に掲載しております。) ベース事業を確実に維持しながら、2015年度までに蒔いてきた様々な種を大事に育てつつ、さらに次世代につながる新たなビジネスを開拓していこうというチャレンジングな姿勢で臨みたいと考えております。

砂糖事業は当社の大きな柱ですが、国内の少子高齢化等による消費漸減傾向は簡単には止まらないこと、政府の農業政策やTPP(環太平洋経済連携協定)の動向等から、業界を取り巻く環境は不透明さが残ります。そうした状況下、商権を維持しながら、さらなるコスト削減に努

め、競争力強化を通じて利益を確実に確保することが重要な戦略になると考えております。

機能性素材事業においては、当社が持つ製法特許を活かしたイヌリンの製造・販売をさらに伸ばすことが最大の目標になります。そのためにはタイの子会社を中心に、販路を日本だけでなく海外市場とりわけ東南アジア諸国まで拡大し、売上と利益を大きく改善することが至上命題になってきます。また、併せて子会社ユニテックフーズ株式会社においては、ゼラチンやペクチンの販売増強に加え、新たなブレンド事業の育成等によって商品ラインアップを充実させ、取扱規模の拡大を視野に入れております。

以上のような販路拡大と新たな市場開拓を実現することによって、機能性素材事業を当社における2本目の柱に成長させていく所存です。

当社の3本目の柱である不動産事業もベースの一つです。賃貸事業が中心であり、毎年確実な安定収益を生み出しております。この事業の課題は、現在稼働している賃貸資産の老朽化を見据えながら、将来のための資産の入れ替えや再構築が必要になりますが、この3か年の間にそれらに対する具体的な回答と将来像を描くことにしております。

将来への布石という観点から、4本目の柱についても検討中です。その中身は、「食品」という範疇の中で、当社の経験やノウハウ、そして資金が活かせる事業に積極的に参入することになると考えています。具体的な例としましては、先年既に発表いたしましたタイにおけるパン製造事業への参画がそれに該当いたします。これら新規事業等への取組み形態としては、新規合弁事業だけではなく、今後はM&A等を有効な手段として活用することになると予想しております。同時にそれらに伴うリスクの把握とそのコントロールも重要な経営課題となることから、経営のガバナンス強化にも目を配っていく必要があると考えております。

こうした状況下、当社は「私たちは、『夢のあるたくましい会社』を目指し、健康な生活づくりに貢献します」の企業理念の下、5つの経営方針を掲げるとともに、その実現のためにこの3か年を「成長を目指した基盤固めと新規事業のさらなる育成」の期間として捉え、基本戦略として5つの重点目標を立て、計画の遂行に着手いたしました。

今後、これらの目標達成のためにグループとしての総合力を発揮してまいります。

## 【経営方針】

- ①顧客第一主義の徹底
- ②会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③公正で透明性のある企業活動の推進
- ④社会に評価される企業価値の向上
- ⑤社会に貢献する企業市民活動の充実

## 【基本戦略】

- ①収益性の向上
- ②事業の多角化の展開
- ③海外展開へのさらなる挑戦
- ④企業ガバナンスの強化と社内体制の充実
- ⑤人財の育成・確保



代表取締役社長 船越 義和

当社は、世界を相手に小さくとも特長を持った存在感のある企業となるべく、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2016年6月

## CONTENTS

ごあいさつ	P 1
トップインタビュー	P 3
セグメント別の状況	P 5
連結財務諸表	P 7
会社の概況/株式の概況	P 9
トピックス	P10

## ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田和人が撮影した作品です。



撮影地 - 静岡市 吉原 - 「天空の茶畑」



**Q** 当期（2016年3月期）の営業状況をご説明願います。

**A** 精糖事業は販売減少の中で増益を果し、機能性素材事業はユニテックフーズ株式会社の好調が寄与しました。

当期の連結業績は、精糖事業が利益を伸ばし、機能性素材事業が売上拡大とともに損失を縮小したことで、売上高19,312百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益959百万円（同48.5%増）、経常利益958百万円（同10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は623百万円（同9.7%増）の増収増益となりました。

精糖事業は、砂糖消費量の漸減傾向が続く中、採算重視の販売に努めたことで販売数量は減少しましたが、効率的な原料調達や経費削減努力が増益につながりました。

機能性素材事業は、タイ子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において「イヌリン」工場の品質安定化に関わる費用が増加したものの、国内子会社ユニテックフーズ株式会社のゼラチンを中心とした天然添加物素材の販売が菓子、乳製品のユーザー向けに好調に推移したため、増収・損失改善を果しました。

**Q** 中長期の成長に向けた取り組みをお聞かせください。

**A** 国内・海外で「イヌリン」の販売を推進。また新たな展開としてアジアにおける製パン事業の拡大を図ります。

非砂糖分野の成長テーマである「イヌリン」については、2016年6月以降にタイ国内で本格販売を開始する予定で、他のアジア各国への輸出も準備を進めています。

国内では、腸内フローラの改善や水溶性食物繊維摂取の有用性等のテーマがメディアで取り上げられたことで、「イヌリン」に対する関心が高まり、新規ユーザー向けの採用件数やサンプル要請数が飛躍的に増加しています。今後は、食品表示法に基づく「イヌリン」の機能性表示も予定しており、その効果と相まってさらなる拡販が期待されます。

一方、新たな事業展開として、タイに製パン会社DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.を合併設立し、2016年2月からタイ国内でのパン販売を開始しています。現在、日系コンビニエンスストア等を中心に大変好評を得ており、他のアジア新興国のニーズにも適していると考えられるため、当社グループの販売網を活用した製パン事業の拡大を図るべく、同

社株式を追加取得し、子会社化しました。

当社は、ここに挙げた「イヌリン」事業および製パン事業の軌道化に当面注力していきますが、より長期的には新規素材の開発を目指し、M&Aも視野に入れた機能性素材分野の事業拡大を図ってまいります。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 次期（2017年3月期）は、機能性素材事業の黒字転換による増収増益を見込み、増配を予定しています。

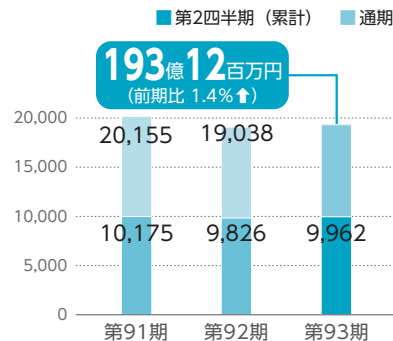
今回の期末配当は、安定配当の維持を基本とする還元方針に基づき、予定通り1株当たり9円を実施いたしました。次期（2017年3月期）の連結業績は、精糖事業が売上を拡大しつつ利益水準を維持し、機能性素材事業が改善することで、グループとして増収増益となる見込みです。これを前提に、次期の配当は1円増配の同10円を予定しています。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに今後の成長をお見守りいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

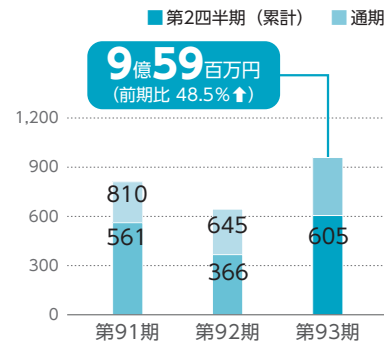
連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

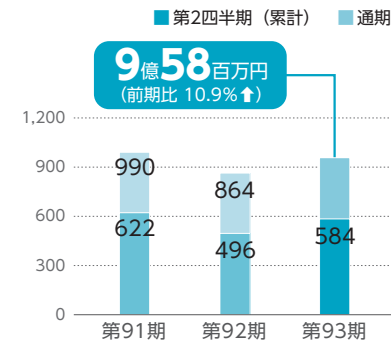
売上高 単位：百万円



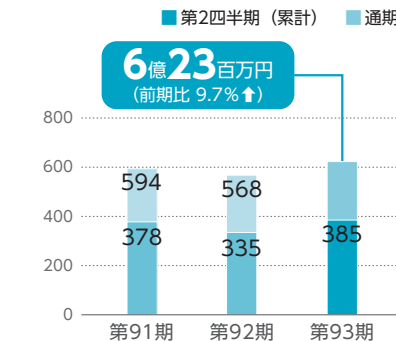
営業利益 単位：百万円



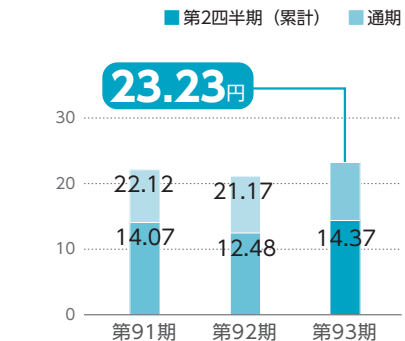
経常利益 単位：百万円



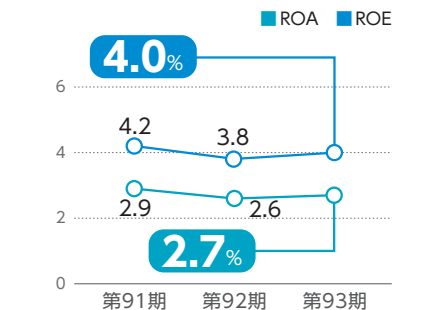
親会社株主に帰属する当期純利益 単位：百万円

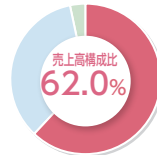


1株当たり当期純利益 単位：円



総資産利益率 (ROA) 自己資本利益率 (ROE) 単位：%





## 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

売上高：11,970百万円  
営業利益：1,275百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場12.00セント（1ポンド当たり）で始まり、その後、生産国の増産に伴う供給過剰感と生産国の通貨安が進み、およそ7年ぶりに最安値10.13セントまで下落しました。その後、砂糖の供給量が消費量を下回るとの見通しと主要生産国であるブラジルでの長雨による収穫の遅れから相場は反転し16.75セントの当期最高値を付けた後、15.35セントにて期末を迎えました。

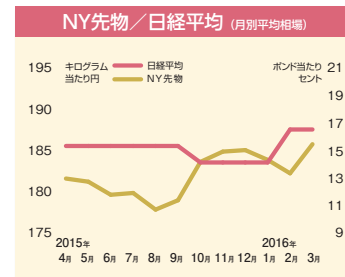
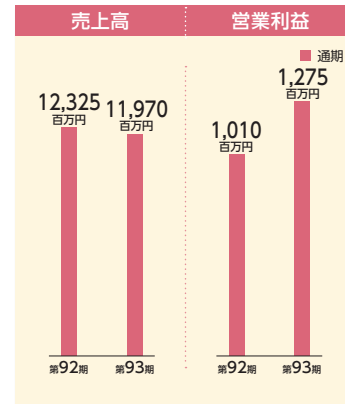
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
12.00	16.75	10.13	15.35	13.19

一方、国内製品市況は期初東京現物相場186円（上白大袋1キログラム当たり）で始まり、海外原糖相場下落により10月に製品出荷価格を2円引き下げたものの、2月には一転して海外原糖相場の上昇により4円の上引き上げを行い188円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、新規の清涼飲料向けは増えたものの、夏場の天候不順や秋口から年末にかけて低調な荷動きにより菓子類、糖化製品、乳飲料向けが減少し、液糖、上白糖を中心に前年同期を下回る販売数量となりました。

この結果、販売数量は減少したものの効率的な原料調達や生産コストの抑制に努めたことにより、売上高は11,970百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は1,275百万円（同26.3%増）の増収増益となりました。



## 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

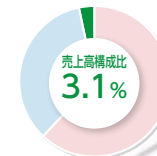
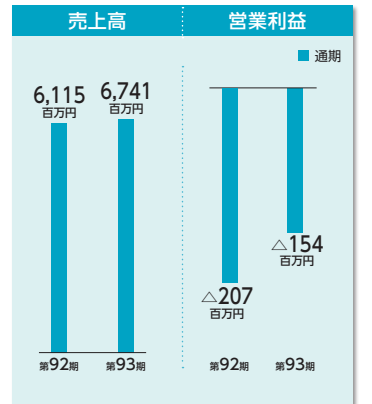
売上高：6,741百万円  
営業損失：154百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門ではイヌリンはタイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.（以下、FTI社）からの本格的輸入を開始し、既存・新規ユーザーの拡販を図ったものの、大手ユーザー向けが伸び悩んだ結果、販売数量は前年同期を若干下回り、減収となりました。利益面では、前年に続き、FTI社製品の品質安定化に時間を要したことにより減益となりました。

切花活力剤部門では、花卉業界全体が低迷するなか、新製品「水揚促進剤ハイ・スピード」の本格販売開始、既存製品のパッケージをリニューアルするなど販促活動を行った結果、増収増益となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、ゼラチンを中心とした天然添加物素材で積極的な販売活動を行い、菓子、乳製品のユーザー向け販売が好調に推移した結果、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は6,741百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失は154百万円（前年同期営業損失207百万円）の増収増益となりました。



## 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：600百万円  
営業利益：525百万円

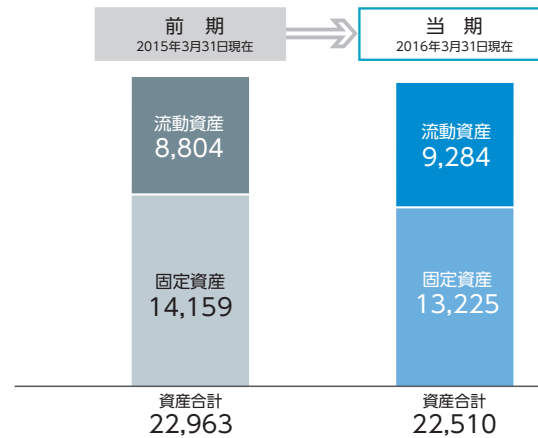
不動産事業につきましては、既存所有物件の一部で賃料改定を行った結果、増収となったものの、小規模賃貸住宅の維持管理費が増加したため減益となりました。

この結果、売上高は600百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は525百万円（同1.0%減）の増収減益となりました。

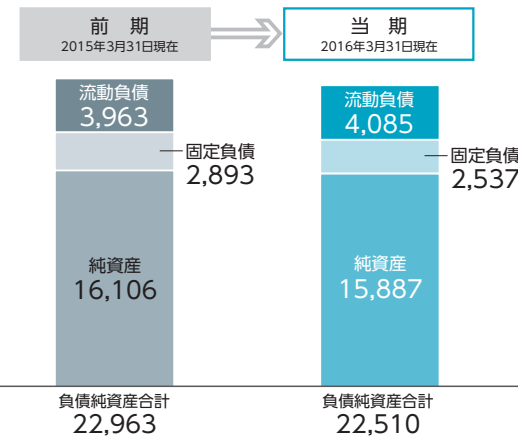


連結貸借対照表

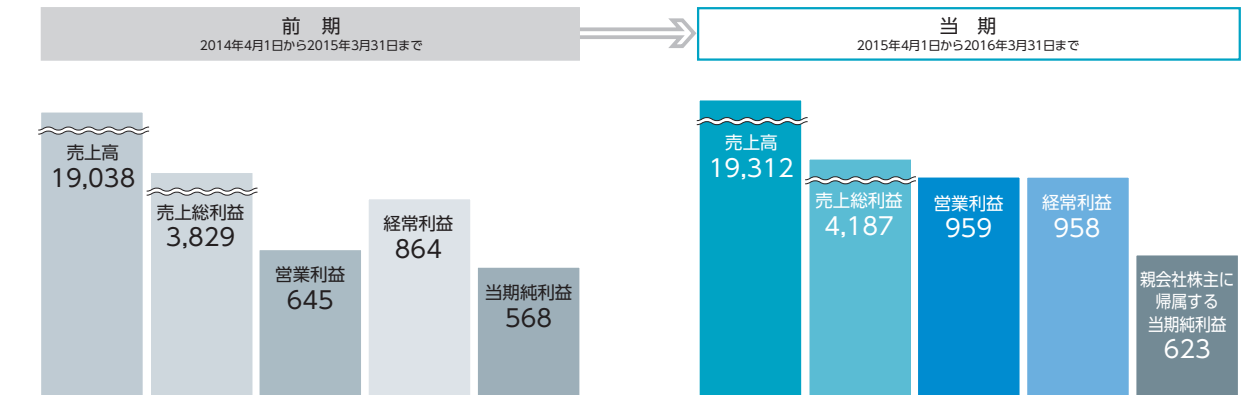
● 資産の部 (単位: 百万円)



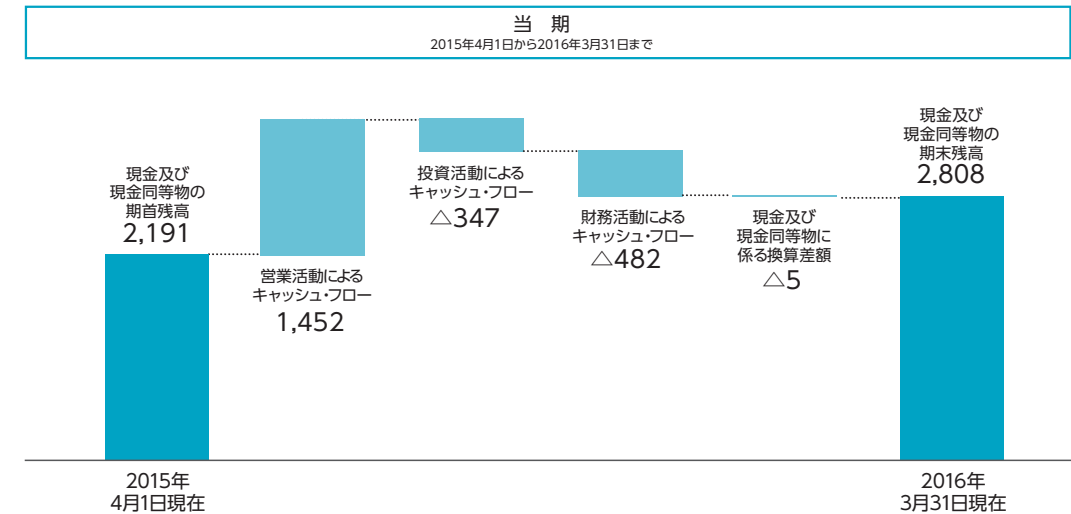
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ5.5%増加し9,284百万円となりました。これは主として現金および預金の増加等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.6%減少し13,225百万円となりました。これは主として投資有価証券の減少等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末

に比べ3.1%増加し4,085百万円となりました。これは主として買掛金および未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12.3%減少し2,537百万円となりました。これは主として長期借入金および繰延税金負債の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.4%減少し15,887百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したもののその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

## 会社の概況

(2016年3月31日現在)

COMPANY INFORMATION

### 会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	62名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03 (3667) 7811 (代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054 (334) 5353 (代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045 (501) 0511 (代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND)Co.,Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

### 役員 (2016年6月22日現在)

代表取締役社長	船越 義和
取締役常務執行役員	櫻田 誠司
取締役常務執行役員	櫻田 礎久
取締役常務執行役員	佐塚 真弘
取締役	高梨 繁憲
取締役	市村 由昭
取締役	村上 光廣
常勤監査役	福田 弘
監査役	上平 徹
監査役	北尾 孝司
監査役	内藤 健雄

### 執行役員

執行役員	梶原 久雄
執行役員	山崎 伸夫
執行役員	大口 真央
執行役員	小島 康克

### 監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

## 株式の概況

(2016年3月31日現在)

STOCK INFORMATION

### 株式の状況

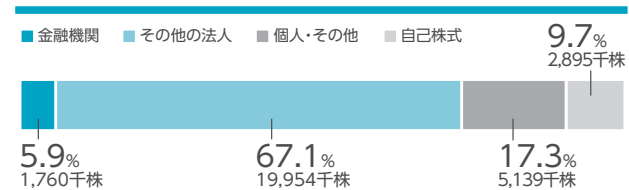
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	7,700名

### 大株主

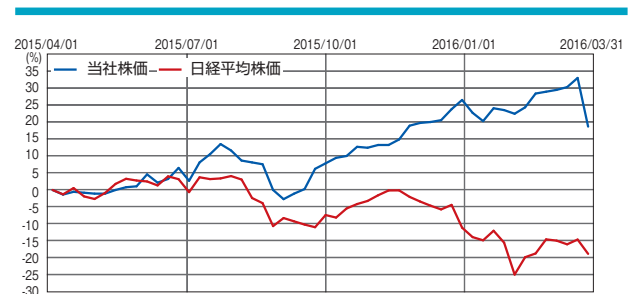
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,902	7.1
和田製糖(株)	1,226	4.6
(株)静岡銀行	792	3.0
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 持株比率は自己株式 (2,895千株) を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



### 比較チャート (2015年4月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



## トピックス

### グループ会社紹介

### ユニテックフーズ株式会社

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、世界中の優れた素材メーカーとネットワークを構築し、ペクチンやゼラチンなどの天然食品素材や機能性素材を輸入し、独自のアプリケーション開発技術とともに国内の食品メーカーに販売を行っています。

また、長年培った応用技術や製品開発をもとに、新商品の開発・生産支援・品質管理の受託も事業化しています。特にペクチンをはじめとする増粘多糖類・ハイドロコロイドについては長年の研究実績があり、その性質を熟知しており、個々の素材の特徴を活かし最適な条件下で使用方法や新たな特徴を引き出すノウハウを確立しています。

また近年では、素材の新たな特徴や新規の使用方法



を引き出すために、素材の製造工程や形態・形状など様々な角度から素材を研究しています。素材を組み合わせることでこれまでにない機能・特性を引き出す研究に力を入れており、無数にある素材の組み合わせから新たな機能を発現させ、多くのお客様のご要望にお応えできる最先端の研究開発を行っています。

当期におきましては、ゼラチンを中心とした天然添加物素材の販売が菓子、乳製品のユーザー向けに好調に推移したことから、利益面において機能性素材事業の連結業績に大きく貢献しました。今後は主力ユーザーへの販促・提案活動を積極化しつつ、新規ユーザー獲得に努め、販売シェアの拡大を目指すとともに、新たな素材の組み合わせに取り組んでまいります。



## 株主優待について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様には、所有株式数に応じた当社商品詰合せを、毎年6月に贈呈いたします。

100株以上	1,000株以上
1,000円相当の 自社製品	3,000円相当の 自社製品



※1,000円相当の自社製品



※3,000円相当の自社製品

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.fnsugar.co.jp/">http://www.fnsugar.co.jp/</a>  (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

 **フジ日本精糖株式会社**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
TEL : 03-3667-7811 <http://www.fnsugar.co.jp/>

**UD  
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。